手頃な掛け金で大きな保障

協同組合ならではの保険共済制度（死亡・高度障がいを保障）

Q 協同組合のグループ保険の特徴を教えてください。

A 多くの先生方から死亡保障の共済制度を作ってほしいとの声が寄せられ、組合員同士で助け合う相互扶助制度「グループ保険」がいいのではないかと協同組合理事会で討議し、1964年にグループ保険（団体生命保険）が誕生しました。

2017年より賛助会員制度が始まり、勤務医の先生にも加入いただけるようになりました。さらに、2018年８月より最大１億円（現在は上限9000万円）まで加入していただけるようになります。

Q 加入にあたっての最大のメリットはなんですか？

A グループ保険（団体生命保険）の一番の魅力は保険料の安さです。グループ保険（団体生命保険）とは正式には団体定期保険と呼び、一定数以上の組合員が加入することを条件に団体割引が適用できます。また、協同組合が加入脱退の手続きを行うので最小限の手数料に抑えられ、さらにいただいた保険料とお支払した保険金の差額を計算し、余った保険料は配当金としてお返しさせていただけます。

「手頃な掛け金で大きな保障」ここが多くの組合員の先生に選ばれているポイントです。

最近の加入例としては

①Ａ先生はご結婚を機にグループ保険6000万円に加入

②ご夫婦ともに医師のＢ先生・Ｃ先生はお子様の誕生を機にそれぞれ5000万円に増額

③開業の際に加入したＤ先生は上限の9000万円に加入

先生方からは「グループ保険は団体割引なので安い」「簡単な告知だけなので加入しやすい」「医療法人なので、法人受取りして経費で落とせる」などの声もいただいています。

何が違う？
協同組合のグループ保険

手頃な掛け金で大きな保障

団体生命保険の特徴として、加入者の増加に比例して、相互扶助の効果が大きくなり、会員の先生へのメリットが増加します。

協同組合ニュース

2018 4 月号

医科組合員　4,164人
歯科組合員　3,108人
合計　7,272人
（2018年３月20日現在）

大阪府保険医協同組合
ＴＥＬ　06-6568-2741
ＦＡＸ　0120-02-9381
ＵＲＬ　http://e-mdc.jp

また、結婚・開業・出産などのライフイベントに合わせてご加入いただいています。

Q 今後の展望を教えてください。

A 高齢の先生だけでなく40代や50代の比較的若い先生がお亡くなりになるケースもあります。「今は健康だから大丈夫」と思わず、残されたご家族のためにも健康なうちにしか加入できないグループ保険（団体生命保険）の加入をおすすめします。

また、加入者が増えれば保険料も下がるといったスケールメリットを活かした協同組合ならではの保険共済制度です。まだご加入いただけていない先生にグループ保険（団体生命保険）の魅力を知ってもらえるように宣伝方法を工夫していきます。

◆ 保険に関するお問い合わせは、**保険共済部担当：寺内・小野（TEL 06-6568-2230）**まで ◆

第48回通常総代会記念講演

参加のお申し込みは、担当：村上・清水（TEL 06-6568-2741）まで

遺伝子操作の過去・現在・未来を考える

日時　5月19日（土）　**記念講演　14：00～15：30**
第48回通常総代会　15：45～17：00

場所　大阪府保険医協同組合会館５階　M&Dホール
（大阪市浪速区幸町１－２－34）

５月19日（土）に当協同組合の「第48回通常総代会」が開催されます。

その記念として、「遺伝子操作の過去・現在・未来を考える」と題して、一般社団法人　市民セクター政策機構・代表専務理事の白井和宏氏をお迎えしてご講演いただきます。

記念講演は、総代以外の先生方もご参加いただけます。FAX等でご案内しますので、是非ご参加ください。

一般社団法人
市民セクター政策機構・代表専務理事
白井（しらい）　和宏（かずひろ）

【プロフィール】
季刊『社会運動』編集長。1957年横浜市生まれ。中央大学法学部卒、英国ブラッドフォード大学大学院ヨーロッパ政治研究修士課程修了。生活クラブ連合会企画部長、生活クラブ・スピリッツ（株）代表取締役を経て現職。

【講演内容】
1996年にアメリカで遺伝子組み換え（GM）作物の栽培が始まりました。

1997年から日本にも輸入が開始され、この年に白井先生のご勤務先の生活クラブ生協では「安全性が不明確」「一握りのバイオテクノロジー企業が支配している」等問題があるとして、「供給する食品には遺伝子組み換え原料は使用しない」と宣言しました。「そんなことは不可能だ」と批判をうけましたが、非遺伝子組み換えの食品原料や家畜の飼料の輸入を実現しています。

実際に輸出国のアメリカやオーストラリアへ行かれ現地の農家で確認し、流通過程の中でも遺伝子組み換えと混入しない点検などを行っています。

20年以上、一般に売られている遺伝子組み換え食品を多くの方は食べ続けています。

今回は、「遺伝子組み換え作物は何か」「毎日食べている遺伝子組み換え食品」「広がるスーパー雑草、スーパー害虫」「遺伝子組み換え食品の危険性」「遺伝子組み換え作物を広めるアメリカの回転ドア」等の各テーマと最後の方では「新たな遺伝子操作“ゲノム編集”」についてご講演いただきます。

※総代の先生方には、５月２日までに「通常総代会資料等」をお送りいたします。ご出席の程よろしくお願い申し上げます。

2018年歯科診療報酬改定で 舌圧検査（140点）の対象患者が拡大されました

歯科の先生方へ
お知らせ

改定前

（月２回に限り算定）
①舌接触補助床を装着した患者または装着することを予定している患者

改定後

（月２回に限り算定）
①舌接触補助床を装着する患者
②口蓋補綴・顎補綴を装着する患者
③広範囲顎骨支持型装置埋入手術の対象となる患者（６カ月に１回に限り算定）
④口腔機能低下またはその疑いのある患者
⑤歯管、歯在管または在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料を算定し、継続的な指導・管理を行う患者

出典：月間保団連　No.1260　2018年改定の要点と解説

舌圧測定器のご紹介

JMS舌圧測定器
（オーラライズ）
￥135,000（税別）
舌圧プローブ　25本入り
（単回使用）
￥11,250（税別）
連結チューブ　10本
（月に１回交換）
￥14,300（税別）

その他の医療機器も多数お取扱いしております。
お気軽にご連絡ください！
（担当：田辺・新垣　TEL 06-6568-2741）

資産防衛 ＜3＞

コラム

金融機関は誰の味方？

資産防衛コンサルティング
ライフマネジメント株式会社　代表取締役　松本隆宏
各種企業顧問　弁護士事務所・司法書士事務所・住宅会社等

不動産を多く所有されている方や経営者の方であれば、金融機関の担当者から、所有する不動産に関するアドバイスを受けた方も多いのではないでしょうか。そこで一度、“金融機関の本来の仕事とは何なのか”を、皆様に考えていただきたいのです。

彼らはどのようにして利益を得ているのでしょうか？　利益など度外視で、皆様の為にボランティアで動いているだけなのでしょうか？
金融機関の仕事は、預金、為替、信用創造など多岐にわたりますが、主要な業務として「お金を貸すこと」があげられます。お金を貸して、その金利で利益を得る。例えば、アパートローン・住宅ローンの貸し出しや、企業への融資など…。

では、なぜ彼らはあの手この手で、無料で皆様の相談を受けるのか考えてみましょう。こちらがお金を預ける（＝銀行に貸す）。そのお金を、企業の事業資金や、アパートローンなどの形で、２％や３％の金利で貸す。一方、預金者へ渡す金利分は約0.01％という、ごくわずか。この金利の差額が後に大きな利益となるわけですから、彼らは先ずその窓口として無料相談を持ちかける。言わばこれが本来の銀行のビジネスモデルなのです。

皆様はもうお気づきでしょう。金利の差額で利益を得ている彼らが、顧客の収支が良くなるようなアドバイスをしてくれるでしょうか？
言うならば「羊と狼」のような関係性が浮かび上がってきませんか？　この様な構図を冷静に読み解くと、本当の味方が誰なのか、誰に相談するべきかを考える機会となりますね。

また、各専門家のアドバイスを受けることもあるかと思いますが、不動産を代々引き継いでいるご家族には、整理するべき問題が多い為、不動産に詳しい方でなければ、おそらく的確なアドバイスを得るのは難しいでしょう。

建物は、新築当時に比べ徐々に家賃が下がり、築年数が経つにつれ修繕費がかかり出し、減価償却費が減り、実収入が減ってきている状況の中、ついに大規模修繕が必要となる…。下がった家賃を元に戻すことは現実的には難しいのですが、工夫次第で返済額を軽減することは可能です。

私どもが対応させて頂いた中で、アパートローンの借換えにより、年間返済額が100万円以上（借入額：5,000万円弱）の軽減が出来たケースや、多い方では500万円以上（借入額：４億円弱）軽減できたケースなどがあります。しかし、この様な情報は、既に貸し出している金融機関からまず提案されることは考えられませんし、一般の方がプロ（金融機関担当者）とやり取りをしても、上記のケースと同様の効果を出すことは難しいでしょう。

“工夫次第で、全く違った結果を生み出す”

実際に私どもは、税理士事務所などからこの様なケースの相談を多く受け、日々対応させて頂いております。

セミナー報告

看護事例も報告され 40人を超える参加者が聞き入る

３月17日（土）にＭ＆Ｄホールにて、保険医協同組合・ニプロ株式会社の共催で「在宅支援システムを用いた在宅医療・訪問看護のこれから」セミナーを開催しました。当日は50人を超える方々にご参加いただきました。

司会の中村厚理事長の挨拶にはじまり、セミナーでは、堺で開業されている嶋田先生（嶋田クリニック）より、ご自身の医院での在宅診療の実態、またニプロが開発した見守り支援システム「ハートライン」の概要、システムへの期待と不足点についての報告がありました。

次にニプロ株式会社　橋本民雄氏（事業戦略室　在宅医療支援チーム）からハートラインについての説明、使用例などがDVDも使いながら紹介されました。

最後に訪問看護の現状として、訪問看護師の大谷氏（堺・はるか訪問看護センター）より、看護事例も交えた報告がなされ、参加者も熱心に聞き入っていました。

質疑応答では、参加者から各医院での取り組みの報告やたくさんの質問があり、在宅医療・訪問看護への注目度の高さが分かる内容となりました。

協同組合の行事案内

保険共済部セミナー

知らないと損をする！「上手な財産継承ノウハウ」

～ドクター向け相続対策～

日　時：５月20日(日)
10：00～12：00

予約限定 60名

講　師：寺西　雅行　先生
（株式会社相続ステーション®代表取締役・税理士・行政書士・FP）
会　場：大阪府大阪市北区角田町８番47号
（阪急グランドビル26階会議室）
参加費：無料
申し込み・問合せ：保険共済部　TEL　06-6568-2230
担　当：渡邊

診療所向け
レセコン・カルテ一体型　システム
Dynamics
開業医の経営と診療を最も応援する、開業医のためのソフトウェア

【参加無料】
導入前セミナー
お申込受付中

製品価格
●初年度合計／ 320,000円
●2年目以降／ 月額 10,000円
※ 表示価格は税抜き価格です
※ PC/LAN 機器などの費用は含まれません

詳細は HP へ！
株式会社ダイナミクス
050-6860-5206
http://www.superdyn.jp/

５月休業日のお知らせ

日曜・祝日
第２・第４土曜日

◆尚、業務時間は
平日9：00～17：00
土曜9：00～12：00
です。